

オリエント美術館の収藏品情報可視化ツールを利用し、 岡山市立東疇小学校にて公開授業を行います

オリエント美術館では、ICTを活用した収藏品情報可視化ツールを制作しました。予備知識がなくても、誰でも直観的に作品を選び、閲覧することができます。利用の一例として、市内小学校にて公開授業を行います。本ツールの制作は県内で初めて、学校教育での利用は全国初です。

1 日時

令和6年3月14日(木)9時40分～10時25分

2 場所

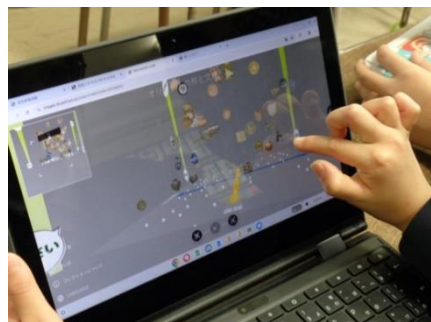
岡山市立東疇小学校（南区東畦）

3 内容

公開する授業は以下のとおりです。

- ・ 第4学年 図画工作（4-B 教室） 児童 34 人

収藏品情報可視化ツールとは、オリエント美術館の収藏品画像のうち50点を厳選して、インターネット上で3次元空間に浮かび上がらせて配置し、直観的、感覚的に理解できるようにする鑑賞支援ツールです。

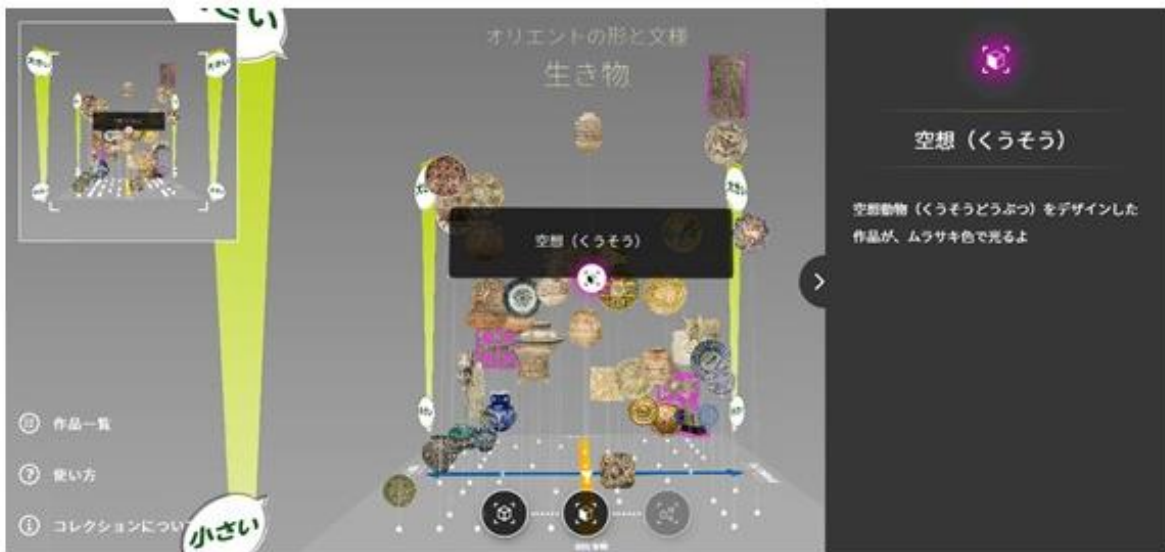


実際に児童が使用する様子

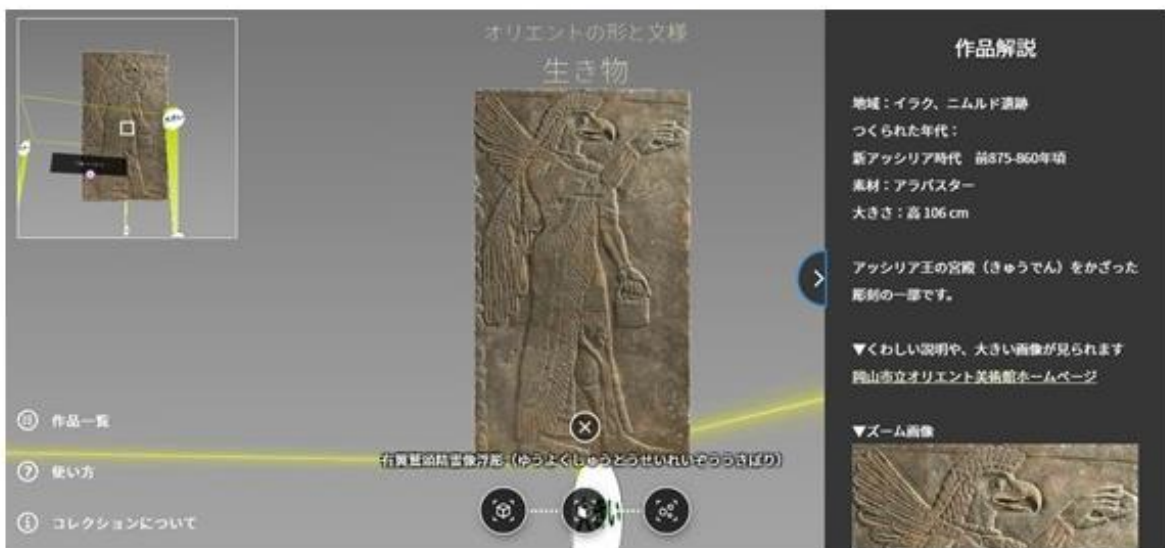
4 その他

- ・ 取材を希望される場合は、令和6年3月13日(水)17時までに、オリエント美術館・横田または伊藤へご連絡ください。
- ・ 取材の際の留意事項は、当日、オリエント美術館・横田からお伝えします。
- ・ インタビュー等の要望等がある場合は、オリエント美術館・横田までお問い合わせください。
- ・ 収藏品情報可視化ツールは、令和6年3月14日(木)以降、オリエント美術館ホームページからアクセスできるようになります。

■オリент美術館の収藏品情報可視化ツールの操作画面



側面のテーマを選ぶと、3次元に浮かぶ作品の中で、関係するものが光ります。



作品を選択すると、解説が表示されます。

【問い合わせ先】

オリエント美術館 横田・伊藤 直通086-232-3636